

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2024年 06月 11日

静岡県知事殿

提出者

住所 静岡県富士市南松野2329

氏名 花王製紙富士株式会社

代表取締役 萬條 司

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0545 - 85 - 2630

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

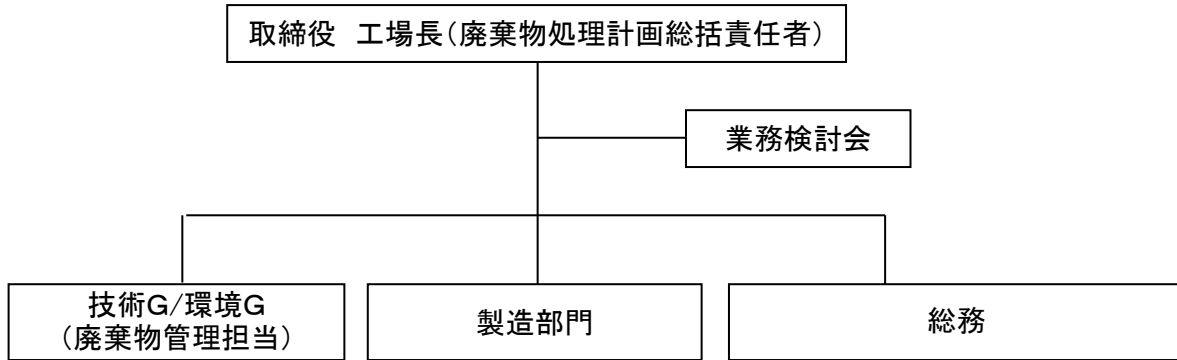
事業場の名称	花王製紙富士株式会社		
事業場の所在地	静岡県	富士	市南松野2329
計画期間	2024/4/1 ~ 2025/3/31		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
① 事業の種類	パルプ・紙・紙加工品製造業		
② 事業の規模	5.0億円		
③ 従業員数	38人		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・汚泥（製紙スラッジ）→自己中間処理（脱水）→自己中間処理残さ→委託処分（再利用） ・原材料納入パレット→木くず→委託処分（破碎→焼却→再利用） ・原材料の梱包材→廃プラ類→委託処分（燃料利用） ・生産工程で発生した廃プラと紙くず→廃プラ類→委託処分（破碎）→委託処分（固形燃料化） ・生産工程で発生した廃プラとフィルター類→廃プラ類→委託処分（焼却）→委託処分（路盤材原料化）		

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

組織図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	有機性汚泥	55,523.500 t
	木くず	1.410 t
	廃プラスチック類	14.480 t
(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・脱水用スクリープレスの日々の運転管理継続 ・凝集ポリマー添加の最適化(スクリープレスでの脱水性向上) ・分別回収による環境負荷の低減(分別方法の周知と強化、排出前確認) ・汚泥水分率の削減対策(水分率定期測定、脱水機網の定期清掃) 		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	有機性汚泥	54,950.000 t
	木くず	1.300 t
	廃プラスチック類	14.000 t
(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・脱水用スクリープレスの日々の運転管理継続 ・凝集ポリマー添加の最適化継続(スクリープレスでの脱水性向上) ・分別回収による環境負荷低減(分別方法の周知、保管場所の日常点検) ・汚泥水分率の削減対策(運転設定の最適化) 		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処分先ごとに、分別回収※分別回収することで、鉄くずは有用物として外部に売却出来ている ・分別回収した保管品の3Sの徹底
	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

②計画	<ul style="list-style-type: none">・処分先ごとに、分別回収※分別回収することで、鉄くずは有用物として外部に売却出来ている・分別表示の強化と従業員教育による分別管理の周知
-----	--

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
		0.000 t	
		0.000 t	
		0.000 t	
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量
	有機性汚泥	0.000 t	55,523.500 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> スクリュープレス洗浄強化による運転の安定化 スカムの濃度調整による凝集改善 脱水用スクリュープレスの日々の運転管理強化 		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量
	有機性汚泥	0.000 t	53,851.000 t
		0.000 t	0.000 t

	②計画		0.000 t	0.000 t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンプレス脱水状態の日常点検による運転安定化 ・気温等により変化する凝集状態に合わせた薬品添加量の最適化による凝集改善 ・凝集状態に合わせた脱水用スクリーンプレスの運転設定による脱水効率アップ 				

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
		① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
	有機性汚泥	0.000	1,110.470	0.000	0.000	1,110.470
	木くず	1.410	0.000	0.000	0.000	1.410
	廃プラスチック類	13.650	0.830	0.000	0.000	14.480
	(これまでに実施した取組)					

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・1回/年の廃棄物収集運搬業者、処理業者への現地確認の実施・ゼロエミッション達成の継続・分別回収の推進・廃掃法に適用した契約書での契約締結の推進及び更新 |
|--|---|

		【目標】				
②計画	産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				全処理委託量 (t)
		① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	
	有機性汚泥	0.000	1,099.000	0.000	0.000	1,099.000
	木くず	1.300	0.000	0.000	0.000	1.300
	廃プラスチック類	13.000	1.000	0.000	0.000	14.000
		(今後実施する予定の取組) ・1回/年の廃棄物収集運搬業者、処理業者への現地確認の実施 ・ゼロエミッション達成の継続 ・分別回収の徹底と強化 ・廃掃法に適用した契約書での契約締結の推進及び更新 ・WDSの最新版への差し替えによる管理強化				
※事務処理欄						

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。